



活動報告：自立支援セミナーを開催しました

11月27日、札幌市のかでる2・7で中・高生のユースに向けた「自立支援セミナー」を開催しました。高校生、里親そして里親支援専門相談員の14名が参加して、ファイナンシャルプランナーの須藤臣さんから「社会人になる前に知っておきたいお金の話」と題して社会保障、税金、貯蓄、保険およびローンなどについてみっちり2時間の講義をしていただきました。



まず冒頭に驚かされたのが、学校を卒業してから会社などに就職せず自由気ままに働くフリーターと、新卒として会社に入って正社員になった場合を比較すると、60歳までの生涯賃金はフリーターでは7,200万円に対して正社員は2億8000万と4倍弱の差がつき、老後も85歳までに受け取る年金額はフリーターで約1560万円、正社員で約3960万円と2倍以上も違ってくるといことです。その他に怪我をしたり病気になったりした時、または失業した時などにも大きな差があり、何故そうなるのかについて分かりやすい説明がありました。



その他、①契約社員や派遣社員、パート、アルバイトなど雇用形態の特徴と長・短所、②社会保険のいろいろ、③年金の仕組み（国民年金保険に入るのは義務であること）、④暮らしのリスクと保険（個人賠償責任保険は必要だが、健康保険制度が発達している日本では医療・生命保険は必ずしも入ることはない）、⑤借金と金利では消費者金融やクレジットカードのキャッシングの危険性を強く指摘（リボ払いや銀行のカードローンも同様）等々、これから自立に向かう子どもたちばかりでなく、子どもを送り出す側の里親にとってもたいへん勉強になるセミナーでした。

お願い：里親制度等に関する要望をお寄せ下さい

里親会活動の一環として毎年、「里親制度に関する要望事項」を会員から募り、要望の内容に応じて国（厚生労働省）、北海道および北海道里親会連合会（道里連）に要望先を分けて集約してから道里連に送ります。道里連は国に対する要望事項については全国里親会に送り、北海道に対しては保健福祉部子ども未来推進局子ども子育て支援課児童相談グループを窓口として要望を伝えます。

今年もまた道里連から要望事項の提出依頼がありましたので、会員の皆さまからの要望を募ります。【別紙一様式】に国、北海道、道里連への要望を記入して、平成29年1月20日（金）までに事務局へ郵送、またはファックスでお送り下さい。参考として昨年度の要望事項を取りまとめたものを同封しますので、重要と思われる事項については重複しても構いませんので上げて下さい。

活動報告：「灯の会」で「ちょっと早めのクリスマス会」が行われました

11月20日（日）に江別市野幌公民館を会場として、「灯の会」主催による「ちょっと早めのクリスマス会」が開催され、石狩管内の里親さんと子どもたち、里親支援専門相談員、江別市子ども家庭相談室職員の方々38名が参集しました。近況を伝える自己紹介に続いて、事務局による全国里親大会の報告、佐藤副会長からの「里親会への要望アンケート」の依頼がありました。その後は大人たちの懇談のかたわら子どもたちはゲームで遊び、そして参加者全員がお楽しみのビンゴゲームに興じ、短い間ですが楽しい一時を過ごしました。

